第十一 章　関東編

第 31 日目　（8 月 19 日（火））

鉄道最高駅　野辺山駅下車　　軽井沢駅 - 横川駅　鉄道すでに廃止 バス で乗車

わたらせ渓谷鉄道　記念乗車きっぷで 女子事務員奮闘する

中込-小淵沢-小諸-軽井沢-横川-高崎-桐生-間藤-下館-茂木-真岡-下館

今日で 31 日目と 1 ヶ月を過ぎると旅ではなく、生活の一部として列車に乗っているだけに過ぎない気持ちになる。

今日は鉄道の最高峰を征服したり、横軽線の難所を初めて バス で移動したりする今までにはない 1 日になると思うと新たな全線踏破への挑戦意欲が沸くのであった。

昨夜は、泊まった旅館を朝早く出る為に裏口から出るように予め言われていた。

雑然と生活用品が並んでいる裏通路を“ 抜き足、差し足、忍び足 ”と静かに歩き、まるで夜逃げ同然？の行動であった。

夜逃げには少しばかり明るかったが、今後、夜逃げをする時があれば多いに参考になった。

こんな経験も、普通の ビジネスホテル では味あえないと思いながら旅館を後にした。

早朝の中込駅は駅員さんが奇麗に清掃しており、掃除が行き届いていたのには感心した。

中込「なかごみ」駅ではなく、「無い ゴミ 」駅と言う特別な名前を付けて上げたかった位であった。

今日は小海線を踏破する為に中込駅発　5:57 の小渕沢行きの列車に乗る。

勿論、ここでも　ワンマン 列車であった。

知らない人は小海線と海が付くのに何時になったら海が見えるのと、疑問を持つ位の高原を列車はゆっくりと走り続け、正に、“ 高原列車は行く ”の雰囲気であった。

乗車した客はわずかに学生らしき旅人の 3 人と思ったより少なく、チョツト ばかり残念であった。

何故ならば、途中にある清里へ行く客が大勢いるのではないかと思っていたのである。